



AMDAや 選挙で懇談

21ヵ国大使が知事表敬

二十四日、岡山入りした世界二十一カ国の駐日大使や夫人らで編成する外務省主催の視察訪問団は県庁に長野知事を表敬訪問し、各国と岡山の友好関係を深め

合った。(一面に関連記事) 県庁三階の大会議室で、各国の大使がそれぞれの国旗の置かれた円卓を囲み、知事が「これほど大勢の大使が一度に来岡されたのは初めてのことで、大変光栄。県の産業や文化に触れ、躍進する岡山の姿を確かめてください」と歓迎のあいさつ。

訪問団長のカタイプ大使(マレーシア)が「心のもった出迎えを受け、岡山の国際化が非常に進んでいることを実感しました」とお礼の言葉を述べた後、各国外使が知事と懇談した。

ルワンダ大使が岡山に本拠のあるAMDA(アジア医師連絡協議会)の活躍に触れ、「本国がいろいろ援助を受けており、この機会にお礼を申し上げたい」と述べると、知事は「非常時に世界各国へすぐに出動する素晴らしい組織ですね」と答えた。

インドネシア大使が「次の知事選は日本中の注目を浴びていると聞いているが、情勢はどうかと質問。知事は「候補予定者の一人は裁判官出身で衆院議員を長くやった著名人。同時に建設省出身の新人も立つ。結果いかんでは岡山出身の橋本政権にも影響を与えるかもしれない」ということで注目されている」と述べた。表敬訪問に先立ち、一行は岡山市内のホテルでビデオを使って岡山の気候、歴史、白桃やマスカットなどの特産品、瀬戸大橋や高速道路網など各種都市基盤の整備状況について概要説明を受けた。